



平成27年10月26日

報道関係各位

幅広く多彩な展覧会を開催中！
あべのハルカス美術館・平成28年 年間展覧会ラインナップ決定
～親子で楽しむアートから歴史深い沿線文化まで盛りだくさん～

日本一高いビル「あべのハルカス」の16階に位置する「あべのハルカス美術館」では平成26年3月の開業以来、東大寺展を皮切りに現在まで8つの展覧会を開催し、累計入館者数は50万人を突破しました。中でも今夏に開催しました「トーベ・ヤンソン展～ムーミンと生きる～」では入館者数が約10万人に達するまで大変好評をいただきながら会期を終えました。

さて、平成28年も下記のとおり6回の展覧会を企画しています。親子で楽しんでいただける新感覚アートから、西洋美術、近鉄沿線の文化財に特化したものなど目が離せない内容となっております。

展覧会の詳細は別紙のとおりです。

あべのハルカス美術館は、お仕事帰りにもお立ち寄りいただけるよう平日(火～金)は夜8時まで開館しております。今後も多種多様な展覧会を気軽に楽しめる、より魅力的な都市型美術館として多くのお客様にお越しいただけるよう運営していきます。

～「あべのハルカス美術館」平成28年ラインナップ～

1. 光のワンダーランド 魔法の美術館

会期：平成27年12月12日(土)～平成28年1月27日(水)

共催：産経新聞社、関西テレビ放送



1
的場やすし/山野真吾/徳井太郎「SplashDisplay」
©yasushi MATOBA/shingo YAMANO/taro TOKUI
協力：電気通信大学小池研究室

2. 長谷寺の名宝と十一面観音の信仰

会期：平成28年2月6日(土)～平成28年3月27日(日)

共催：真言宗豊山派総本山長谷寺、日本経済新聞社

3. ピカソ、天才の秘密

会期：平成28年4月9日(土)～平成28年7月3日(日)

共催：毎日新聞社

4. スター・ウォーズ展 未来へつづく、創造のビジョン。 2

会期：平成28年7月16日(土)～平成28年8月30日(火)

共催：産経新聞社、読売テレビ



重要文化財 雨宝童子立像
(本尊十一面観音像脇侍) 長谷寺蔵

4



© & TM Lucasfilm Ltd.

5. 大妖怪展 ー土偶から妖怪ウォッチまでー

会期：平成28年9月10日(土)～平成28年11月6日(日)

共催：読売新聞社

6. わだばゴッホになる 津軽の魂 棟方志功展(仮称)

会期：平成28年11月19日(土)～平成29年1月15日(日)

共催：朝日新聞社(予定)

※プレスリリースに添付している画像データは貸出可能ですのでご希望の方はお問合せください。
また、各展ともに開催2～1ヶ月前を目処に詳細なプレスリリースを皆様のもとへお送りします。

1. 光のワンダーランド 魔法の美術館

会期：平成27年12月12日(土)～平成28年1月27日(水)

共催：産経新聞社、関西テレビ放送

開催趣旨：色とりどりの光がきらめき、不思議な影が動き出す…最新のデジタル技術を駆使したメディアアートの魅力を、見て、触って、参加して楽しめる体感型の展覧会。現代日本を代表する気鋭のアーティストたちによる光と影の魔法は、大人も子供も夢中にさせてくれることでしょう。ご家族で、友人やカップルで、ぜひ一緒にお楽しみください。

公式ホームページ <http://www.mahou-museum.com/>



藤本直明「Immersive Shadow」 ©naoaki FUJIMOTO



的場やすし/山野真吾/徳井太郎「SplashDisplay」
©Yasushi MATOBA/shingo YAMANO/taro TOKUI
協力：電気通信大学小池研究室



坪倉輝明「七色小道」 ©teruaki TSUBOKURA

※「光のワンダーランド 魔法の美術館」について、詳細なプレスリリースは、11月上旬にお送りする予定です。

2. 長谷寺の名宝と十一面観音の信仰

会期：平成28年2月6日(土)～平成28年3月27日(日)

共催：真言宗豊山派総本山長谷寺、日本経済新聞社

開催趣旨：長谷寺は、白鳳時代の創建と伝え、奈良時代から観音の聖地として発展します。本展では、これまでお寺を出て公開されたことのなかった本尊の両脇侍像をはじめ、長い歴史の中で形作られた十一面観音信仰の美術や密教、神仏習合など多様な信仰の美術、また長谷寺とかかわり深い豊山派寺院に伝わる観音信仰の美術などを紹介します。



重要文化財 雨宝童子立像
(本尊十一面観音像脇侍) 長谷寺蔵



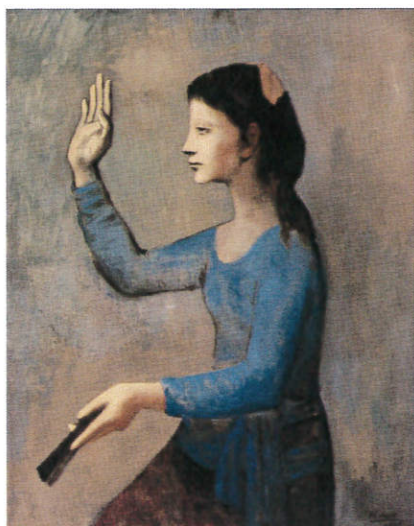
重要文化財 難陀龍王立像
(本尊十一面観音像脇侍) 長谷寺蔵

3. ピカソ、天才の秘密

会 期：平成28年4月9日(土)～平成28年7月3日(日)

共 催：毎日新聞社

開催趣旨：20世紀最大の造形革命、キュビズムを創始し、91歳で没するまで驚異的な創造力を発揮し続けた不世出の天才、パブロ・ピカソ(1881—1973)。その天才たるゆえんを、キュビズム誕生以前の作品に探ります。少年期の早熟な才能を示す作品から、人間への深い洞察力にもとづく「青の時代」「バラ色の時代」の作品まで、ピカソ芸術の根幹にふれる絶好の機会です。



パブロ・ピカソ《扇子を持つ女》1905年 油彩、キャンバス 100.3 x 81cm ワシントン・ナショナル・ギャラリー
National Gallery of Art, Washington D.C. Gift of the W. Averell Harriman Foundation in memory of Marie N.
Harriman, 1972.9.19 ©2015 – Succession Pablo Picasso – SPDA[JAPAN]

※誠に申し訳ありませんが、
著作権元との契約の都合上、
現時点では画像貸出ができません。
ご了承ください。

4. スター・ウォーズ展 未来へつづく、創造のビジョン。

会 期：平成28年7月16日(土)～平成28年8月30日(火)

共 催：産経新聞社、読売テレビ

開催趣旨：「スター・ウォーズ」は1977年の初公開以来、熱狂的な支持を得て、これまでシリーズ6作品が公開されました。本展では、映画で実際に使用されたルーカス・ミュージアム・オブ・ナラティヴ・アート所蔵のコンセプトアートや衣裳・小道具、ジョージ・ルーカスが世界中から選りすぐったアーティストの作品約150点を、多彩な映像とともに展示し、「スター・ウォーズ」の世界をご紹介します。



© & TM Lucasfilm Ltd.

5. 大妖怪展 -土偶から妖怪ウォッチまで-

会 期：平成28年9月10日(土)～平成28年11月6日(日)

共 催：読売新聞社

開催趣旨：「百鬼夜行」に描かれた妖怪たちの姿は、一見すると無気味ながら、実に愛らしさにあふれています。本展では、古くから日本で愛されてきた妖怪の表現の展開を、縄文時代の遮光器土偶から、平安・鎌倉時代の六道絵、辟邪絵、中世の絵巻、江戸時代の浮世絵、そして現代の妖怪ウォッチまで、国宝・重文を含む一級の美術品で紹介します。

6. わだばゴッホになる 津軽の魂 棟方志功展(仮称)

会 期：平成28年11月19日(土)～平成29年1月15日(日)

共 催：朝日新聞社(予定)

開催趣旨：「わだばゴッホになる」大正13年に21歳で上京した青森の青年は、版画家として成功し、世界のムナカタと呼ばれました。生涯かけて無我夢中に制作した木版画の数々や、彩色の美しい肉筆画は生命力にあふれ、現代の我々の眼にも、常に斬新に映ります。習作期から晩年までの代表作を網羅し、強烈な個性を発して輝き続けた偉大な版画家の生涯をたどります。

開館時間

火～金：10:00 - 20:00

月土日祝：10:00 - 18:00

*入館は閉館30分前まで

休館日

一部の月曜日

年末年始、展示替え期間(不定期)

*展覧会により休館日は異なります。

所在地

〒545-6016

大阪市阿倍野区阿倍野筋1-1-43 あべのハルカス16階

最寄駅

近鉄「大阪阿部野橋」駅 直上

JR「天王寺」駅

地下鉄御堂筋線「天王寺」駅

地下鉄谷町線「天王寺」駅

阪堺上町線「天王寺駅前」駅 よりすぐ

アクセス



【本件に関するお問合せ先は、以下までお願いします。】

近鉄不動産株式会社アセット事業本部ハルカス運営部

TEL:06-4399-9050 FAX:06-6622-8091 E-mail:aham@kintetsu-re.co.jp